

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	あうりんこ谷山		公表日	R8年 2月 27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		事前のスタッフ間の話し合いをもとに活動内容や目的に応じて、個室や大部屋を使い分けて活動を実施しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		保育士や医療職など、基準人員以上の配置を行っております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリー化されていない箇所に関しては人的配慮で対応しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		湿度や温度管理を行うとともに、換気や消毒なども徹底して行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子様の状態や支援内容に応じて部屋の選択を行っております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		活動前に活動内容の共有し、留意点を踏まえたコミュニケーションを実施しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年ご家族への事業所評価を依頼し、ご意見内容を踏まえた事業所運営に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務や支援に関する話し合いは、時間を設け実施している。その他、個人面談を行い、その内容を踏まえた業務改善を図っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現在第三者による評価は実施していない。	今後必要性に応じて検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		保育、医療職のそれぞれの専門的な視点について資料提供を行い自己学習に努めています。自己啓発研修への参加機会も設けられています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに支援プログラムは掲載しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		ご家族へのニーズ聞き取り調査や客観的アセスメントツール等を統合し、計画書の作成を行っております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画書作成や利用児支援に関する会議を実施し、支援方針等の共通理解を図るよう努めております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書については支援者全員が共通理解の下で支援に取り組めるようにシステム化されています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		各専門職による客観的アセスメントツールを使用しています	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画には発達支援・家族支援・地域支援・地域連携の項目に分けてニーズ・目標・支援内容等を検討し、記載しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		計画書を下にお子様の特性や課題、ご家族ニーズに沿った支援が出来るよう全職員で検討しております。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		様々な職種が関り、個別支援ではお子様のニーズや成長に応じて活動内容を適宜変更して支援しております。集団支援では季節や行事に応じたテーマを設定し、特性に応じた支援内容を設定しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様のニーズや状況に合わせて個別や集団枠を設定し、個別支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		全職員で活動内容を検討し、集団活動ではリーダー役、補助役を設定し役割分担を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後に情報共有を行う時間を設けております。当日中に時間が確保出来ない際には、翌日に時間を設け情報共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援前には前回介入時の情報を支援記録を参照しております。日々の記録での情報共有に加え、必要に応じて動画情報での共有も行っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画についてはおおよそ半年に一度見直しを行っております。その際にはモニタリング内容やご家族ニーズ等を踏まえ計画書に反映しております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議には児童発達支援管理責任者や医療専門職を中心に参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療的ケアが必要なお子様に関しては、主治医より頂いている指示書に沿った内容で支援しており、必要に応じて関連機関との連携を図っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		関係機関に関しては電話連絡や送迎時、保育所等訪問支援時に情報共有ができております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援シート等を活用し、移行時に支援が途切れないように情報共有を行っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		センターが開催する研修や連携会議に積極的に参加しております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		保育所等訪問支援や情報共有により連携を図っております。戸外活動を通じた地域との交流も図っております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援中や支援後に活動内容に関する助言等を行っております。日々の記録を配布し、日頃の様子を共有し、共通理解を図っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援後相談支援による助言等も実施しております。質問内容については職員で共有させていただいております。また、自宅で取り組める内容や視点についてもお伝えできるよう心がけております。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明させて頂くとともに、事業所内掲示もしております。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画書作成にあたり、利用児の現状を説明し、ご家族の意向も確認しております。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画作成後、ご家族へ支援内容・目標を説明し、同意を得た上で支援を実施しております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援の前後(振り返り等)に、日頃の様子、悩み等について情報共有しております。必要に応じて面談での相談支援も実施しております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会の開催はないが、同時段での保護者及び兄弟の関わりは確認されている。要望に応じて開催を前向きに検討いたします。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		家庭連携、関係機関連携、保育所等訪問支援等場面に於いて相談の場面を設定して幅広く対応させて頂いております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		活動内容に応じて、準備物等の案内は書類配布または保護者へ直接連絡している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報記載された書類については鍵付き書庫で管理しております。なお、契約時にご説明させていただいた個人情報使用同意書に沿った取り扱いをさせて頂いております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様の状態を評価結果を下に把握し、コミュニケーション手段についての検討、実施を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域に幅広く開かれた運営は出来ておりません。必要に応じて開催を前向きに検討致します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		緊急時対応については契約時にご説明させて頂き、事業所内にも各種マニュアルも掲示しております。職員については内容を周知、理解し定期的な訓練も実施しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		非常災害対策や感染対策等のBCPを作成し、定期的な訓練の実施や内容の見直しを行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		持病、服薬、痙攣など確認し必要時は医師の作成する指示書を下に、看護師が中心となって体調確認及び処置を行っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		対象のお子様がいる場合は、契約時に確認しおやつ購入時アレルギー表記確認など行い、医師の指示書に基づき対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画策定しており、ご利用される全てのお子様及安全に利用出来るような安全の確保に努めております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に確認する利用児情報を必要時もしくは毎年更新し、既往歴や緊急連絡先を記入してもらい、早急に対応できるように努めております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		当法人全事業所で事例の情報共有を行っております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待についての理解を深めるため、年1回以上の研修を実施し、虐待防止・廃止に向けて法人全事業所で取り組んでおります。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		職員研修や会議を行い、事業全体で身体拘束廃止に向けて取り組んでおります。身体拘束が必要な方に関してはご家族に対して、その理由・方法・期間を提示し同意を得た上で実施するとともに個別支援計画にその内容を明		